

# しば子先生の ミニミニ芝生教室

**先生：**高温の夏場に寒地型のクリーピングベントグラスはどうやって耐え忍ぶかわかったかしら？

**生徒：**はい、寒地型と言っても高温に耐える能力は十分に備わっていることがわかりました・・・

**先生：**そうね・・・重要なのは生育期である春の段階で十分に成長させて十分な貯蔵養分を貯えさせること・・・これによって夏場の高温で光合成による生産量が落ちても貯蔵養分で生育を助けることができるわ・・・それと葉の温度を下げさせるための十分な蒸散作用を継続させるためにやはり春から夏にかけて根を十分に育てて十分な根圏を作つておくこと・・・このためには根の成長に必要な土壤の空気の層を確保すること・・・エアレーションできれいな砂を入れる・・・また春の期間に十分に養分を与えること・・・

**生徒：**なるほど・・・やはり夏の前の春の準備が最も重要なんですね・・・

**先生：**そういう事・・・夏対策だけではなく、健全で強い芝を作るためには『根』の成長が最も重要なね・・・

**生徒：**今まで何度も言われてきました・・・

**先生：**そう・・・夏場対策は特別な事ではなく、常日頃から考えなければいけない土壤の正しい化学性、物理性を維持し、それに正しい養分管理をすることが基本中の基本なのよ・・・その結果が夏場に正直に表れるのよ・・・

**生徒：**やはり基本が一番大事なんですね・・・

**先生：**そのとおりね・・・その上で夏場には重要なポイントもあるわ・・・

**生徒：**そこですね！・・・30℃を超える日に何をすればいいのでしょうか？

**先生：**前回説明した通り、ベントグラスは外気温の高温より土壤の高温の方がダメージが大きいという事ね・・・

**生徒：**はい、土壤温度が適正であれば外気温が高くともどんどん成長していくことができます・・・

**先生：**そこがポイント・・・つまり土壤温度を上げないように管理することが必要なのよ・・・

**生徒：**それはそうでしょうけど・・・どうやったら土壤温度が上がらないようにできるんですか？

**先生：**一番大事なのは『土壤の空気の量を高く維持すること』

## 第100回 空気と水

**生徒：**ええっ？ 空気ですか？  
水だと思っていました・・・

**先生：**あらあら困ったわ  
ね・・・きちんと土壤学を理解していればそんなこと言わ  
ないわよ・・・

**生徒：**でも夏場はどんどん土壤から水が蒸散して土壤の水が減ってしまうので足してあげないと・・・

**先生：**確かに夏場の土壤からの蒸散量は高くなるわ・・・でもいくら芝生が水を必要としていても、芝生が必要としている以上の水は必要ないのよ・・・

**生徒：**確かに植物のしおれ点は土壤水分 8%でした・・・

**先生：**そうね・・・だから 8%以上あればいいのよ・・・

**生徒：**でもそれじゃあぎりぎりだからたくさん水を  
あげていっぱいあった方がいいんじゃないでしょうか・・・人間だって水分補給しないと熱中症になるし・・・

**先生：**あらあら、ついに人間も水分補給するからとか言ってしまったわね・・・植物は動物じゃないのよ勘違いしないで・・・そういう人間感覚で無意味にたくさん水を撒くと芝生に取っては大迷惑・・・その過剰な散水で芝生を枯らしてしまうのよ・・・よくある事ね・・・

**生徒：**えっ散水し過ぎで枯らしてしまうんですか？

**先生：**そう・・・暑い中頑張って水を撒いて、その結果芝生がダメになっていく・・・水を撒けば撒くほど減っていくものは？

**生徒：**そうか！ 土壤の孔隙に水が飽和してしまうと土壤中の空気が無くなってしまいます・・・

**先生：**そのとおり・・・土壤の温度を上げないためには土壤の空気が必要・・・これには理由があるのよ・・・水は空気の 20 倍も温度を伝える能力が高く、しかも一度温度の上がった水はなかなか温度が下がらないの・・・

**生徒：**なるほど、発砲スチロールが断熱材になるのは発砲スチロールの中の小さな隙間の中に空気がたくさん入っているからなのと同じ原理ですね・・・

**先生：**うまいこと言うわね・・・夏場の芝生表面は 50℃を超えるわ・・・でも芝生自体のターフの層と土壤の空気層が断熱材になって、土壤の 10 センチ下は 25℃ぐらいに維持されるわ・・・水が満水になった土壤は地表面の温度が地下にまで伝わってしかも温度が下がらない、同時に根の成長に必要な空気が無くなってしまうから根にとっては致命的になるわね・・・

しば子先生への質問や励ましのメールはこちらへ・・・  
shibako@hugh-enterprise.co.jp

《芝生教室のパックナンバーはこちらから》

<http://www.hugh-enterprise.co.jp>